



開催報告

Love江の島！ おとなのAquarium @えのすい

2025年11月19日（水）・11月26日（水）全2回開催

令和7年度ふじさわ探キュン講座第1弾では、新江ノ島水族館（えのすい）・なぎさの体験学習館の学芸員・えのすいトリーター（飼育スタッフ）の方々にご登壇いただき、2日間に渡って講座を開催しました。

第1回はなぎさの体験学習館にてスライドの投影により講義していただきました。

第2回はえのすいのバックヤードを案内していただき、受講者の皆様に館内を自由見学しました。

貴重な地域資源「えのすい」の魅力を深掘りして、さらに江の島・藤沢への郷土愛を深めてもらえる講座になりました。

第1回 11月19日 なぎさの体験学習館

学芸員の伊藤様・岩崎様からご講義いただきました。前半は伊藤様から江の島の地形の成り立ちや独自の生態系、江の島に関わる研究者たち、水族館の歴史等について学びました。後半は岩崎様から、海中の膨大なマイクロプラスチックのこと、海洋生態系が脅かされていること、環境・海洋資源を守るえのすいの取り組みについて学びました。

江の島やえのすいについて丁寧に説明いただき、受講者の皆様は真剣に耳を傾け、グループワークを体験することで、江の島周辺の環境問題を自分ごととして実感することができました。



第2回 11月26日 新江ノ島水族館

前半は2班に分かれ、第1回に続き学芸員の伊藤様と、えのすいトリーターの山本様に、バックヤードをご案内いただきました。展示水槽に病原体を持ち込まないように、捕獲した魚を展示前にバックヤードの水槽で管理したり、それぞれの生物に適切な飼育環境を整えるため給餌や温度・水質に細心の注意を払っていることを教えていただきました。また一番大きなクラゲの水槽は、1～2か月に1回400匹のクラゲをざるとバケツでバックヤードの水槽に移し、水抜きして清掃するそうです。

周辺の生物を定期的に採集し新種の発見や生態系の研究もされており、スタッフの方々のご尽力で豊富な海洋生物の展示が維持されていることを学びました。

後半は2日間で教えていただいたことを振り返りながら、えのすい館内を自由見学しました。

